



(お互いに気持ちよくテニスをするために)

# 宝塚パブリックローンテニスクラブ

## エチケット・マナー集

※試合球を用意しておいて下さい。

宝塚パブリックローンテニスクラブ

## □目 次□

### はじめに

当クラブを取り巻く現状について

#### I. クラブハウスでのマナー

1. 使用者名簿への記帳
2. 2階フロアーにおいて
3. コートの順番を待つ場合
4. コートが混み合ってきた場合は 30 分の時間制限で
5. 炊事場において

#### II. コート内でのマナー

1. コートへの入り方（コートの後ろを横切る場合）
2. 基礎練習でコートを使用する場合
3. ゲームの前の練習をする場合
4. ボールを渡す場合（同じコート内、コート間）
5. ボールが隣のコートに入った場合、及び入ってきた場合
6. 試合中において
  - (1) 前後のあいさつ
  - (2) セルフジャッジの場合
  - (3) アドバイス
  - (4) 他のコートの邪魔をしない
  - (5) 試合の流れを切らない
  - (6) サーバーの心得
  - (7) レシーバーの心得
  - (8) コート整備
  - (9) 服装のマナー
  - (10) コートでの会話

## はじめに

テニスは、昔から、紳士、淑女のスポーツと言われてきました。これは、マナーを最も重視することからだと思います。マナーとは何か。それを追求すると、きりはないでしょうが、結局は、相手の立場を尊重するという事にあると思います。この心さえあれば難しいルールなどは不必要でしょう。

条文などで書かれない約束事を紳士協定と言われるのもその所以でしょう。美しいテニス、それはフォームが美しいとか、スタイルが良いと言うものでなく、マナーの良いテニスだと思います。

マナー向上のために、この度、委員会で個々のテーマについて詳しくまとめて頂きました。一読に値するものばかりですから、皆様方もよく読んで頂いて、美しいテニスクラブのために、ご協力をお願い致します。

## 当クラブの成り立ち

当クラブは昭和42年に初代会長の故池田政三先生等の御尽力によって「宝塚硬式庭球協会」通称「宝塚ローンテニスクラブ」として発足しました。

当時は民間のクラブはまだ誕生していなかった為、市庭球協会イコール当クラブとしての位置づけでありましたが、昭和50年代に入り民間のクラブ（中山台テニスクラブ、宝塚テニスカレッジ、宝塚テニスガーデン、パコンテニスクラブ、宝塚グリーンテニスクラブ）が続々と誕生し、昭和60年にはそれらのクラブを含めて、「宝塚市テニス協会」が発足するにいたりしました。

当クラブの最大の課題は会員の皆様にいかに安定してコートを提供し続けて行けるかという事です。歴代の会長をはじめスタッフ一同はこの問題に常に取り組んでまいりました。またこれに関連して平成2年にはクラブ名を「宝塚市硬式庭球協会」通称「宝塚LTC」に改称し、更に平成6年には、現在の「宝塚パブリックローンテニスクラブ」に改称するにいたりしました。

テニス協会設立以後、さまざまな問題点が発生いたしました。現状では市テニス協会との話し合いにより、会員の皆様にコートを提供する事が出来ております。当クラブで現在使用しておりますクラブハウス等も、すべて当クラブ専用の施設ではありません。

またテニスコート使用についても、市の行事、テニス協会の行事が優先されることは言うまでもありません。会員の皆様にはこれらの諸事情をよく理解していただいた上でプレーを楽しんでいただける様お願いいたします。

## I. クラブハウスでのマナー

### 1. 使用者名簿への記帳

当クラブへこられましたら、まず最初に本人が自ら使用者名簿に氏名、入所時刻、退所時には、退所時刻の記帳をお願いします。

これは、日、曜日ごとの使用者の利用状態を把握すると共に市に対して利用実態を報告し、コート面積を増やしていただくための大切な資料としての目的を持っております。また誰が来場されたのかの証明にもなっております。

### 2. 2階フロアにおいて

2階フロアは当クラブの専用フロアではありません。(今までも何回かその旨を掲示しました)

従って、当クラブ以外の人達が2階へこられた場合は気持ちよく使用できるように席を譲るよう心掛けて下さい。

自分達の使用した湯のみ、お盆、急須、お菓子類は、ゲームに入る前に必ず片付けて机上に残さないようにして下さい。

### 3. コートの順番を待つ場合

ホワイトボードに名札を貼るか、氏名を記入して順番を待ちます。

メンバーの選り好みはせず、クラブ員同士の親睦を深め、楽しくプレー出来るようお互いに心掛けましょう。

後から入った人の名前を見て名札を外したりする事は、相手の方に大変失礼ですので行わないでください。

ボードに名前を入れたら、次の控えがいなくても速やかにコートに入ってください。

車の移動、トイレ等の雑用は、それまでに片付けてメンバーに迷惑の分からないように心掛けてください。

### 4. コートが混み合ってきた場合は30分の時間制限で

3回以上の順番待ちになってきた場合、30分の時間制限でゲームをしましょう。お互いにゲームの短縮に工夫をして、少しでも多くのクラブ員が楽しめるようにしましょう。

午後4時にコートに入った際に、順番待ちの人がいる場合も同様です。

## 5. 炊事場において

炊事場は家庭の台所と同じです。いつもきれいにしておきたいものです。それぞれが気持ちよく使用できるよう気をつけましょう。

- (1) 使用したコップ、ふきんはきれいに洗いましょう。
- (2) ポットのお湯は、補充しましょう。
- (3) シンクのゴミ入れがいっぱいになったら、ネットを替えましょう。
- (4) 乾燥機の中のコップが乾いていたら、食器棚に納めましょう。
- (5) 冷蔵庫や、食器棚の私物は、放りっぱなしになると衛生的にも良くないので、その日のうちに、責任を持って持ち帰ってください。
- (6) 残っていた場合は、適宜、処分させていただきます。

## II. コート内でのマナー (試合球は必ず各自が用意してコートに入って下さい)

### 1. コートへの入り方 (コートの後ろを横切る場合)

試合中のコートの後ろを通過してコートに入る場合

- (1) プレーが中断するまで待つ。
- (2) 中断した時に急いで駆け足で通り抜けるようにする。
- (3) プレーしている人は、後ろを通る人が待っていたら、今からサーブをするというタイミングであれば、中断してどうぞ」と言って先に通してあげましょう。

### 2. 基礎練習でコートを使用する場合

使用時間をホワイトボードに終了時刻、氏名を記入する。

(使用制限時間)

6人以上 40分間

4人以上 30分間

3人以下 20分間

※次の控えがいるときは人数が増えても  
終了時間を変更できません！！

\*2人で練習する時、コートを半面使用し、残り半面は、誰でも使用できるようにしましょう。

### 3. ゲーム前の練習をする場合

相手の技術、年齢に合わせて、お互いが気持ちよくウォームアップが出来るようにしましょう。

最初のボールは相手のフォアにボールを送り、ハードヒットはしないのがマナーです。3～5分位までで練習は終わりましょう。

混雑時には、サービス練習のみにしましょう。

練習の一番最初に「お願いします。」と挨拶しましょう。

ネットにかかったり、大きくアウトしてしまった場合には「ごめんなさい」の声をかけましょう。

#### 4. ボールを渡す場合（同じコート内、コート間）

相手にわかるように一声かけましょう。

相手コートと自分のコートと同時にボールがくる場合があるので、必ず声をかけて渡しましょう。

「ボール、いきまーす。」 「ボール、どうぞ。」

同じコート内では、手渡しで、あるいは利き腕でボールをワンバンドで相手が取れるようにしましょう。

距離がある場合はラケットを使って、これも声をかけてアンダーサーブの要領で、ワンバンドで相手が取れるようにしましょう。

相手にボールを送る時は、距離の遠い人から先に送りましょう。

ボールをもらった人は、「ありがとうございます。」「どうも …。」と、お礼を言うのがマナーです。

声を出さなかった場合は、会釈でもするようにしましょう。

#### 5. ボールが隣のコートに入った場合、及び入ってきた場合

ボールを取りに行く場合は、プレーの邪魔にならないようにコートの後ろ、またはサイドで待ちましょう。

プレーが終わったら、「すみません。」と一声かけて、素早くボールを拾いに行くことを心掛け下さい。

自コートにボールが入ってきた場合は、プレーの邪魔になる時、「タイム」をかけてプレーを中断してボールを拾ってあげましょう。

#### 6. 試合中において

現在、当クラブではクラブ行事の試合も含めて、100%審判がつかないセルフジャッジで行われています。又、試合中のマナーも比較的目の届きにくい4人だけの世界で行われていると言っても過言ではありません。それだけに各人の良識を待った行動が求められます。

それでは、各プレーヤーが行うべき点を確認してみましょう。

##### (1) 試合前後の挨拶

初対面の人と対戦する時は、互いに自己紹介をしましょう。

プレーボールになる前に大きな声で「お願いします。」と声をかけあいましょう。

試合後は、お互いの健闘をたたえて、速やかに握手を交わしましょう。

##### (2) セルフジャッジの場合

①試合前に必ず行うのは、ネットの高さが適切であるかチェックすることです。

- ②プレーが始まったら、ネットより自分達の側にあるコートの判定は、すべて自分達の責任で行う必要があります。自分で判定できないボールは相手に有利に判定するという原則からすべて「グッド」にしなければなりません。
- ③「アウト」「フォールト」といった判定のコールは、大きな声と明確なハンドシグナル（例えば「アウト」の時はしっかり手を上げる）で速やかに行う必要があります。
- ④ダブルスにおいては、ペアのいずれか一方が判定を行えば、それが最終となります。ペアの判定が分かれた時、例えば一方が「アウト」と言い、一方が「グッド」と言った場合には、そのグッドが優先されま  
す。サーブの場合は、一方が「フォールト」と判定しながらもう一方が「レット」と言った時には、そのレットが優先されます。
- ⑤サーブのレットは、レシーバー側だけがコールすることが許されています。サーバーの側にはレットをコールする権利はありません。間違  
ってサーバーの側かサーブのレットをコールして、レシーブ側か同意しなければ、サーバー側はポイントを失うこととなります。ただし、レシーバー側が認めればそのレットは成立します。
- ⑥ポイント、ゲームのそれぞれが新しく始まる前に、サーバーは大きな声で、カウントを言わなければなりません。この時、レシーバーは同意の意思表示を声やジェスチャーで行います。「OK」や「はい」と言ってもいいし、手を上げたり、大きくうなずいたりすれば良いのです。仮にレシーバーが何の合図もしなかつたら、レシーバーはサーバーが言ったカウントを認めたものとみなされます。

### (3) アドバイス

試合中のペアへのアドバイスは相手の気持ちを十分配慮し、不快を与えないように心掛けしましょう。

### (4) 他のコートの邪魔をしない

コートが並んでいる所でプレーする時には、他のコートの邪魔をしないということを特に心掛けなければいけません。試合中の場合、そのコートの後ろを通らないということです。これは危険性をも伴うものですから、要注意です。試合中にコートの後ろを誰かが通ると気になるものです。一つのポイントが終わった後に駆け足で通り抜ける。又は、ボールを取りに行ってください。

### (5) 試合の流れを切らない

試合中に何度も水を飲みに行ったり、汗をぬぐったり、チェンジエンドの際にのろのろと歩いたりするのは、相手のペースを乱して大変失礼にあたります。ポイントが決まったら、次のプレーに向けて速やかな行動をとることが必要です。

#### (6) サーバーの義務

サーバーになった時は、相手がレシーブの準備を終えているかどうかを確かめてからサービスを行って下さい。特にファーストサービスに失敗してセカンドサービスに移るとき、早すぎるとレシーブの準備が整いません。必ずレシーバーの様子を確認してからサービスを行って下さい。

#### (7) レシーバーの義務

サービスがフォールトになった時、レシーバーはそのボールを打ってネットにかけるのが基本的なマナーになっています。

フォールトのボールを相手コートに返球するのは避けてください。この行為は、テニスでは失礼なこととされています。フォールトのボールをネットにかけようと思いながら誤って相手コートに返球してしまったときには、相手に速やかに謝罪の言葉をかけましょう。レシーブの準備が出来ていないのに、サービスされた場合「ノット・レディー」と言えますが、サーブのボールを返球してはいけません。ボールを止めで主張してください。返球すればノット・レディーの権利は失います。

#### (8) コート整備

人工芝コートは、芝上に砂が適度に存在する事で、適度のスライド性とクッション性で快適なテニスが山来るようになっております。砂が不足しますと、プレーヤーの膝等に負担がかかるだけでなく、人工芝の磨耗も激しくなります。各自がプレー終了後、適時ブラシをかけて砂が不足しないように心掛けてください。雨上りでブラッシングをすれば砂が「ダメ」になるような状態の時はしない方がいいでしょう。その判断は各人にお任せします。コート整備後のブラシは、元の位置に戻して下さい。

#### (9) 服装のマナー

服装は、テニスウェアを着用してください。セーター、カーディガン、ベスト、ウォームアップスーツ等の着用はOKです。色彩やデザインについては、テニス用の物であれば問題ありませんが、他の物でも各自の良識にそって判断してください特にシューズについては、ケガ防止のためにもテニス用の物を使用してください。

#### (10) コートでの会話

大声での会話や奇声（罵声）は、慎みましょう。親しいメンバーとのテニスは楽しく、カウントの合間で声を掛け合ったりします。更に、試合中においては、エースやミスに対してつい声を上げがちです。しかし、何事にも限度があります。隣のコートや周りの人の迷惑とならないよう気をつけましょう。